



犬山営業所 乗務員 **堀田 真行**

2021年7月に南星キャリアックス株式会社へ中途入社し、犬山営業所で夜間配送を担う乗務員として活躍している堀田真行さん。交通事故や配達ミス防止のため、自ら決めたルールを徹底して守っています。理想的な配達ルーティーンが確立した背景には、前職のある失敗から学んだ気づきがありました。その気づきとともに、誤配送を減らす工夫についても深掘りし、仕事への思いに迫りました。

入社の経緯をお聞かせください。

前職でも、約8年間宅配業に携わっていました。同じ業種に絞って転職活動をしていたところ、トラックの免許取得に援助が出る南星キャリアックスの求人を見つけたのです。また夜勤にも興味があり、思い切って面接に行きました。仕事を覚えるのが遅いほうなので、

問題ないかと相談すると「1つずつ、ゆっくり覚えていけば良いと思います」とあたたかい言葉をかけてもらえたのです。この一言がきっかけであり、入社を決めました。

夜勤に変わり、どういった苦労がありましたか。

入社後、最初の1か月は体が慣れず大変でした。帰宅してもなかなか昼間に寝付けず、体を極限まで疲れさせるため、仕事終わりにジム通いをしたこともあります。その後は肉体的な疲労が高まったことで眠れるようにもなり、次第に夜型の生活に順応できました。

業務面で大きく変わったのは、閉店後の無人の店舗に品物を納品するスタイルとなり、自分でセキュリティ解除まで行うようになったことです。最初は戸惑いましたが、重大な責任を

伴う業務であると、常に緊張感を持って働いています。そのおかげもあり、これまで大きなミスを出すことなく努めてきました。

これまでの仕事で、失敗した経験をお聞かせください。

前職からこの業界に長く勤めてきましたが、最初の頃は失敗もしました。当時苦労したのが、100通以上の書類を納品する業務です。封筒はどの会社も形状が似ており一目見ただけでは判別がつかせませんが、限られた時間のなかで正しく仕分けをし、納品しなければなりません。あるとき、急いで仕分けた100通のなかの2、3通が違う会社のものだったと連絡がきました。どんなに時間がなくても、焦っていても、確認不足は厳禁です。この一件以来、確認作業を最も重視し、二重三重にチェックを行っています。毎回チェックするのは手間だと思われ

るかもしれませんが、私にとっては何度も確認をしないと不安になるくらいです。

徹底した確認以外にも配達ミスを防ぐ工夫を教えてください。

先輩から教えてもらったアドバースも参考にしています。例えば、同じ会社が運営するドラッグストアで、「〇〇西店」「〇〇東店」といった似た名前前の2店舗へ同時に配達する際は、伝票の見間違いが起きやすくなります。ミスを防ぐには、店舗名のどちらか一方だけにマーカーで下線を引いておくことで判別がつき、現地で迷わずに納品できると教えてもらいました。

また、自身にとって最適な道順であっても、定期的な見直しが必要で、同僚と話していると、逆回りのほうが時間短縮になると気づくときもあります。うまく回っている人のルートを取り入れて時間が削減できれば、心の余裕も生

まれて誤配が減らせるのではないのでしょうか。

日頃、行っているリフレッシュ方法はありますか。

シェットランド・シープドッグを飼っており、夜勤終わりに散歩に行くのが日課です。もともとは牧羊犬として生まれ、運動量が豊富な犬なので、朝と夜合わせて2時間一緒に歩いています。私が帰宅すると大喜びで出迎えてくれ、仕事を終わらせて早く帰らなくてはと思える存在です(笑)また休日には、友人と温泉に行ったり、コートを借りてフットサルをしたりして楽しんでいきます。

今後の目標を教えてください。

入社から2年が経過し、業務にもずいぶん慣れてきました。これからは、どう動けば効率よく回るかを考え、工夫しながら働いて

自ら決めたルーティーンを守り、毎日正確な配送を続けている堀田さん。プロフェッショナルなドライバーを目指し、日々邁進する姿に今後も目が離せません。

